

横田基地に配備されているCV-22オスプレイについて

令和4年8月19日付広資料第172号、同月22日付広資料第175号及び同月25日付広資料第179号でお知らせした、CV-22オスプレイの地上待機について、防衛省北関東防衛局から、下記のとおり情報提供がありましたので、お知らせします。

なお、横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会では、下記のとおり文書要請を行っております。

記

1 情報提供内容

(1) 米空軍CV-22オスプレイの地上待機措置を解除したことについて

米国防省は、オスプレイにおける、クラッチを原因とする特有の現象（※1）による深刻なトラブルを起こすことなく安全に運用できる手順を既に確立しており、オスプレイの飛行を一律に見合わせるべき機体の安全性に係る技術的課題は存在しないとの立場です。この点については、専門家同士の意見交換等を通じ、防衛省としても米国防省に改めて確認しています。

その上で、米空軍特殊作戦コマンドは、本現象が過去6週間のうちに2回発生したことを受け、機体自体の安全性に問題がない中において、CV-22に求められる運用の特性（※2）を考慮し、慎重の上にも慎重を期する観点から、独自の判断として、地上待機措置をとることとしたものです。

その後、米空軍特殊作戦コマンドにおいて、各種情報を分析の上、様々な任務におけるCV-22の運用手順の確認、搭乗員に対する教育・訓練内容の追加（※3）、機体点検などを継続的に行うことにより、CV-22の飛行の安全が確保できることを確認したことから、9月2日（金）（米国時間）、地上

待機措置が解除されたものです。

- (※1) ハード・クラッチ・エンゲージメント（HCE）：プロペラとそのエンジンをつなぐクラッチが離れ、再結合する際に衝撃が発生する現象。
- (※2) 米空軍のCV-22は、偵察や情報収集、人質救出などの任務を遂行する米軍特殊作戦部隊を迅速に輸送するため、米海兵隊MV-22や米海軍CMV-22に比べて、より機動的な飛行などが求められる。
- (※3) 追加の教育・訓練内容の例：本現象の発生を想定したシミュレーション訓練の強化

(2) 横田基地に配備されているCV-22について

米側からの説明によれば、横田飛行場に配備されているCV-22については、9月3日（土）以降、短時間のチェック飛行を行い、9月7日（水）以降、通常の運用を再開すると承知しています。

(3) 米空軍CV-22オスプレイが地上待機することとした原因等について

本現象による深刻なトラブルを起こすことなく安全に運用できる手順は既に確立されており、オスプレイの飛行を一律に見合わせるべき機体の安全性に係る技術的課題は存在しません。

その上で、米空軍特殊作戦コマンドは、CV-22に求められる運用の特性を考慮し、慎重の上にも慎重を期する観点から、独自の判断として、地上待機措置をとることとしたものです。

その後、米空軍特殊作戦コマンドにおいて、各種情報を分析の上、様々な任務におけるCV-22の運用手順の確認、搭乗員に対する教育・訓練内容の追加、機体点検などを継続的に行うことにより、CV-22の飛行の安全が確保できることを確認したことから、9月2日（金）（米国時間）、地上待機措置が解除されたものです。

防衛省としては、そもそも、オスプレイの飛行を一律に見合わせるべき機体の安全性に係る技術的課題は存在しないこと、その上で、米空軍が、CV-22に求められる運用の特性も踏まえ、教育訓練や機体点検等を継続的に行っていくとしていることを踏まえれば、米側の説明には合理性が認められることから、米空軍が今般、CV-22の飛行を再開することとしたことに問題があるとは考えていません。

2 文書要請内容

(1) 要請日

令和4年9月4日(日)

(2) 要請先

在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官

外務大臣

防衛大臣

(3) 要請内容

別紙1及び別紙2のとおり

横田基地に配備されているCV-22オスプレイについて（要請）

令和4年9月3日未明、アメリカ空軍横田基地に配備されているCV-22オスプレイの地上待機措置について、9月2日解除された旨通告があった。東京都及び横田基地周辺5市1町は、CV-22オスプレイのハード・クラッチ・エンゲージメント（以下「HCE」という。）に起因する事故が、2017年以降で計4件、過去6週間で2件発生したとの事実を重く受け止め、地上待機措置となったと理解している。一方、これを契機にCV-22オスプレイの機体の安全性や運用に関する基地周辺住民の不安はこれまで以上に高まりをみせている。

HCEに対しては、安全に運用できる手順が既に確立されており、オスプレイの飛行を一律に見合わせるべき機体の安全性に係る技術的課題は存在しないとのことである。こうした中で飛行は再開されたが、基地周辺住民の中にあつては、安全性に対する不安の解消に至っているとは考えられず、飛行運用に対する不安を、更に募らせることも懸念される。

CV-22オスプレイの運用に当たっては、機体の安全性や運用に関する基地周辺住民の不安が解消されるよう、安全確保の徹底はもとより、十分な説明責任を果たすよう強く要請する。

令和4年9月4日

在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官

アンドリュー L. ラダン大佐 殿

横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会

会 長	東京都知事	小 池	百合子
副会長	瑞穂町長	杉 浦	裕 之
	立川市長	清 水	庄 平
	昭島市長	臼 井	伸 介
	福生市長	加 藤	育 男
	武蔵村山市長	山 崎	泰 大
	羽村市長	橋 本	弘 山

横田基地に配備されているCV-22オスプレイについて（要請）

令和4年9月3日未明、アメリカ空軍横田基地に配備されているCV-22オスプレイの地上待機措置について、9月2日解除された旨通告があった。東京都及び横田基地周辺5市1町は、CV-22オスプレイのハード・クラッチ・エンゲージメント（以下「HCE」という。）に起因する事故が、2017年以降で計4件、過去6週間で2件発生したとの事実を重く受け止め、地上待機措置となったと理解している。一方、これを契機にCV-22オスプレイの機体の安全性や運用に関する基地周辺住民の不安はこれまで以上に高まりをみせている。

HCEに対しては、安全に運用できる手順が既に確立されており、オスプレイの飛行を一律に見合わせるべき機体の安全性に係る技術的課題は存在しないとのことである。こうした中で飛行は再開されたが、基地周辺住民の中にあつては、安全性に対する不安の解消に至っているとは考えられず、飛行運用に対する不安を、更に募らせることも懸念される。

CV-22オスプレイの運用に当たっては、機体の安全性や運用に関する基地周辺住民の不安が解消されるよう、貴職において十分な説明責任を果たすとともに、貴職から米軍に対しても安全確保の徹底はもとより、十分な説明責任を果たすことを申し入れるよう強く要請する。

令和4年9月4日

外務大臣 林 芳正 殿

防衛大臣 浜田 靖一 殿

横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会

会 長	東京都知事	小 池	百合子
副会長	瑞穂町長	杉 浦	裕 之
	立川市長	清 水	庄 平
	昭島市長	臼 井	伸 介
	福生市長	加 藤	育 男
	武蔵村山市長	山 崎	泰 大
	羽村市長	橋 本	弘 山